Call 公募	HORIZON-CL3-2026-01-FCT-02
Project	**Open topic on preventing and countering the misuse of emerging technologies for criminal purposes, including issues related to lawful access to data** HORIZON-CL3-2026-01-FCT-02
Topic description トピックの説明	期待される成果： 本プロジェクトの成果は、以下のすべての期待される成果に寄与することが見込まれる： ● 欧州の警察当局は、犯罪目的での新技術や新興技術の悪用を予測し、これに対処するための、最新かつ利用しやすく、その有効性が実証されたツール、手法、および研修カリキュラムを備えており、個人データの保護やプライバシーの権利を含む基本的人権を完全に尊重しつつ、合法的な方法で犯罪の予防、検知、効率的なデータアクセス、および捜査を促進することを目的としている。 ● 技術者、政策立案者、警察当局間のパートナーシップの構築を通じて、欧州レベルでの学際的な連携を強化し、それによって新興技術がもたらす課題に対する包括的な理解を深め、ベストプラクティスの共有を図る； ● 手続きや規則などに関する明確な指針や枠組みが策定され、これにより、データへの合法的なアクセスが確保されるとともに、セキュリティ上の必要性とプライバシーの尊重とのバランスが図られ、警察や司法が直面する関連課題に対する欧州的なアプローチが促進される。 スコープ： 新技術や新興技術（例えば、新しい通信技術、量子技術、新しい生体認証・本人確認技術、クラウドコンピューティング技術、生成 AI など）は多くの恩恵をもたらす一方で、警察や司法機関にとって数多くの新たな課題も提起している。したがって、こうした新たな動向や台頭しつつある動向から生じる警察当局の課題に適切に対処するとともに、適用される法令や、個人データ保護やプライバシーといった基本的権利を尊重しつつ、データへの合法的なアクセスがこうした変化に遅れを取らないようにすることが強く求められている。 「オープン」テーマでは、過去の「ホライズン・ヨーロッパ」公募「犯罪・テロ対策」および現在の「犯罪・テロ対策 2026-2027」公募の他のプロジェクトでは対象とされていない、新規および新興技術に取り組む提案を歓迎する。 提案においては、新たな脅威や課題に応じて進化できる適応型の手法や枠組みに重点を置き、データアクセスに関する法的基準を遵守しつつ、警察当局が効果的に行動できるよう支援するものであることが求められる。したがって、このテーマにおいて提案される研究活動は、1）検討対象となっている新技術や新興技術の犯罪目的での悪用という問題に対処するための、警察向けの最新ツール、方法論、および研修教材を開発すること、ならびに 2）この文脈におけるデータへの合法的なアクセスに関連する課題に取り組むこと、をバランスよく行うべきである。 このトピックにおいて、研究およびイノベーションの内容にジェンダーおよび交差性の側面（性別およびジェンダー分析）を取り入れることは、必須要件ではない。このテーマで採択された提案間の連携を図り、重複を避け、相互補完性を活かし、さらなる波及効果を生み出す機会を最大限に活用すべきである。 本テーマの下で資金提供を受ける提案のうち、ユーロポール[1]の権限範囲内の課題に関するものは、プロジェクトの実施期間中、ユーロポール・イノベーション・ラボと連携し、成果の検証などを行うことが期待されており、これにより、法執行機関による将来のイノベーションの活用を促進することを目的としている。同様に、提案が薬物関連の問題に関するものである場合、プロジェクトの実施期間中、成果の検証を含め、EU 薬物庁と連携することが求められます。警察当局の研修関連の側面については、同庁が資金援助の申請を見送ることを条件として、採択された提案が CEPOL と協力することが求められる。 最後に、提案書には、「犯罪・テロ対策」の項目における「はじめに」で示された、該当するす

	べての考慮事項が盛り込まれることが求められる。 技術成熟度レベル（TRL） - 完了したプロジェクトで期待される技術成熟度レベル 各活動は、プロジェクト終了までに TRL 5 を達成することが期待される。詳細は一般付属書 B を参照のこと。 [1] https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/?uri=celex%3A32016R0794 (Annex I).